

**指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表**  
(評価対象年度: 令和3年度)

**<施設概要>**

施設	グリーンホール
施設の設置目的	市民の自主的な文化活動の場を提供するとともに、芸術文化活動の振興を図る
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
所管部署	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課

**<施設の過去3箇年の主な管理実績>**

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	17万5112人	2万9977人	5万8606人
事業参加者数	2万5108人	4263人	1万3214人
貸出施設稼働率	83%	63%	68%
指定管理料(市決算額)	1億3179万5177円	1億6378万9346円	1億4300万6714円
利用料金収入	4249万6076円	288万117円	1809万6495円

**<指定管理者における全体総括>**

令和3年度は、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を踏まえて、財団基本計画に基づき、市民や地域と連携・協働しながら、感染症対策と事業運営の両立を図れるよう、創意工夫を凝らして、事業に取り組みました。

事業運営では、財団独自のテーマである「100年後の君へ。」を引き続き掲げ、ジャズコンサートや公開リハーサルなどで地域の人材・団体との連携・協働を推進したほか、障害等の有無にかかわらず一緒に公演を楽しむことができる取組や、次世代への文化の継承、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成、幅広い関連分野との連携を強く意識しながら、各事業に取り組みました。また、新型コロナウイルスの影響により実施はできませんでしたが、バリアフリープログラムとして、市内の特別支援学校と連携し、障害のある子どもたちが音楽ワークショップに参加するための取組の実施に向けて検討するなど地域との連携の強化を図りました。

施設の管理運営においては、窓口での対応やアンケートなど多様な手段により、利用者の声の反映に努めるとともに、一部施設を新型コロナワクチン集団接種会場としました。また、適切な維持管理による施設の長寿命化と積極的な省エネルギー化への取組として、ライフサイクルコストの縮減に取り組みました。また、市が実施する大ホールの天井補強工事においては、令和4年1月から3月まで施設利用を停止したうえで、利用者の安全・安心の確保につなげるとともに、取組の円滑な実施を図れるよう、市と連携しました。

組織運営においては、芸術文化に関する専門的な知識を深めながら、市の政策や関連分野との連携推進を図るスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に引き続き取り組むとともに、市と締結した災害時の協力に関する協定に基づき、グリーンホールへの避難者受入れを想定した避難所開設訓練を市と合同で実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設利用料金収入と指定管理料の減収が複数年度にわたることが想定されることから、各事業規模の見直し、事務経費の縮減、自主財源の確保に努めました。併せて、感染症対策を確実に実行し、マスク着用や手指消毒、健康状態の確認など利用者にも協力を求めながら、安全・安心な施設運営に努めました。

＜施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)＞

業務の実施体制	確認項目	確認欄		
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	( 有(更新)・有・無 )		
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	( 有(更新)・有・無 )		
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	( 実施・未実施 )		
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など		・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)			評価(b~d)
継続的なアートマネジメント人材の育成に取り組み、芸術・文化分野の実務研修や職層に応じた研修を体系的に実施した。また、市との連携の下、組織の活性化及び市民サービスの向上を図るため、目標管理型人事評価制度を試行的に導入した。 平成24年に策定した事業継続計画を適宜更新しながら、非常時の業務体制等を確立していくとともに、令和3年9月には、市と災害時における協力に関する協定を締結した。当該協定に基づき、財団職員を中心として、館内各課、事業者及び委託業務スタッフを対象に、グリーンホールへの避難者受入れを想定した訓練を市と合同で実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策においては、施設の利用停止及び利用キャンセルに伴う利用料金の還付のほか、一部事業の中止又は延期、オンライン配信を含む開催方法の変更など、市及び関係機関との情報共有や連携の下、迅速に対応した。			b	

評価の目安(b~d)

- b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。  
 c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。  
 d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持・管理	確認項目	確認欄		
	施設・設備についての保守点検の実施	( 実施・未実施 )		
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	( 不具合等 有 (47件(うち対応47件))・無 )		
	備品の適切な管理(台帳との照合)	( 実施・未実施 )		
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応、感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など			
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)			評価(a~d)
設備不具合の早期発見・早期対応により、建物全体の長寿命化を図るため、日常・定期点検を積極的に実施し、47件の修繕を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、施設の利用停止や収容率の制限等を確実に実施した。			b	

評価の目安(a~d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。  
 b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。  
 c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。  
 d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

	確認項目	確認欄
サービスの提供	計画した事業(サービス)の実施	( 計画どおり ・ 一部未実施 ・ 多くが未実施 )
	利用者数の状況(前年度比較)	( 前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ 前年比5%超減 )
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	( 前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ 前年比5%超減 )
	新たなサービス(事業)の実施	( 有 ( 2件 ) ・ 無 ) 主な実施内容: QRコードを用いたチケットレス入場, 調布シネサロンの前売券・座席指定販売
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	( 有 ( 2件 ) ・ 無 ) 主な実施内容: バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサルの定員拡大, ホームページリニューアル
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	( 優れている ・ 普通 ・ 要改善 )
	<p>&lt;評価におけるその他の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供</li> <li>・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施</li> <li>・協定書等に基づく施設の開館日・開館時間の遵守</li> <li>・利用申請等に対する迅速な対応</li> <li>・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供</li> <li>・利用者からの苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告</li> <li>・施設の利便性向上・利用促進に関する取組</li> <li>・利用者満足度アンケート調査等の結果 など</li> </ul>	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s~d)
	<p>施設の利用率は、68%となり、前年度比で微増しているものの、コロナ禍前の利用率には戻っていない状況である。施設利用者アンケートによる満足度(「どちらかといえば満足」を含む。)は97.2%であり、前年度と同程度の高い水準を維持している。</p> <p>令和2年度に見直しを行った文化施設3館で行われる各種財団事業の運営のほか、モニタリングサポートやアクセシビリティサポートにおいても活躍いただく「ちょうふアートサポーターズ」について、引き続き、活動内容の充実や活動場所の拡大を図った。</p> <p>調布シネサロンでは、新型コロナウイルス感染拡大防止における新たな取組として、入場方式を当日先着順からチケットの事前販売に改め、座席指定として対応した。</p> <p>また、財団ホームページをリニューアルし、スマートフォンやタブレット端末などでの利便性を向上させつつ、SNSを効果的に活用し、相乗効果が図れるような広報を展開した。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響により、計画事業の一部を中止・延期とした一方で、一部事業については、感染対策を徹底したうえで実施したほか、代替として映像配信を行った。</p>	a

**評価の目安(s~d)**

- s: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について、特に優れた実績がある。
- a: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され、かつ、前年度実績を上回る実績が複数あるなど、優れた実績がある。
- b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき、概ね適切に実施できている。
- c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され、一部改善を要する点がある。
- d: サービスの提供について、抜本的に改善が必要なものがある。

財務 の 状 況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	( 計画比+5%超・同水準(±5%) (計画比-5%超) )
		支出総額	( 計画比+5%超・同水準(±5%) (計画比-5%超) )
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		( 前年比5%超増・同水準(±5%)・前年比5%超減 )
	収入確保や経費縮減の取組		( 有・無 ) 主な取組内容: 寄附金, 企業協賛金及び外部助成金の獲得
	<評価におけるその他の視点> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
	東京都歴史文化財団からの補助金に加え, 文化庁から新たな補助金等を獲得したほか, 用途を限定しない寄附金については, 各事業において寄附の呼び掛けの場を設けるなどの取組を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 施設の利用停止や利用キャンセルに伴う利用料金の全額還付を行ったが, 令和2年度と比べると, 利用料金収入の実績は大きく増加した。		a

**評価の目安(s~d)**

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え, 収入増加や経費縮減に関して, 特に優れた対応・実績が見られる。
- a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え, 収入増加や経費縮減に関して, 優れた対応・実績が見られる。
- b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
- c: 収支計画等に基づく適切な運営や, その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
- d: 収支計画等に基づく適切な運営や, その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

そ の 他	確認項目		確認欄
	地域等との連携による取組の実施		( 実施 )・未実施 ) 主な実施内容: バツハ・コレギウム・ジャパンによる公開リハーサル, ジャズシリーズ
	地域貢献活動の実施		( 実施 )・未実施 ) 主な実施内容: 調布駅前クリーン作戦
	<その他評価の視点> ・省エネルギー, 省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
	適切な維持管理による施設の長寿命化と積極的な省エネルギー化への取組として, ライフサイクルコストの縮減に取り組んだ。 バリアフリープログラムとして, 障害等の有無にかかわらず, 一緒に公演を楽しむことができる取組を推進し, 集団補聴システムの活用のほか, 一部公演において点字台本や音声チラシ・パンフレットを作成した。また, 新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかったもの, 調布特別支援学校と連携した, 音楽ワークショップの準備を行うなど, 特徴的な取組の検討を進めた。		a

**評価の目安(s~d)**

- s: 4つの視点に関する取組以外に, 地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて, 特に優れた対応が見られる。
- a: 4つの視点に関する取組以外に, 地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて, 優れた対応が見られる。
- b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。
- c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。
- d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について, 抜本的に改善が必要なものがある。

### ＜施設所管部署における全体総括＞

令和3年度は、財団基本計画を踏まえるとともに、感染症対策と事業運営の両立を図り、「ホールであなたもピアニスト！」のほか、各種ワークショップやアウトリーチ活動等、共生社会の推進につながる取組をはじめ、芸術文化の振興及びコミュニティの活性化につながる様々な取組が展開されるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含め、施設の適切な管理運営が行われた。事業運営においては、感染対策を徹底の上、体験型で実施可能な取組や、前年度に引き続き適宜オンラインを取り入れながら実施する取組など工夫を凝らしながら、市民が芸術文化を楽しむことのできる機会の創出を図った。また、財団ホームページをリニューアルするなど利便性の向上に努め、施設の管理運営においては、一部施設を新型コロナワクチン集団接種会場としたほか、市との災害時協力協定に基づく避難者受入れ訓練を実施し、安全・安心な施設管理に努めた。これらのことを踏まえ総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、市民の文化活動を継続するとともに、市との緊密な連携を図りながら、優れた水準で業務が行われたものと評価することができる。

総合評価

**A**

#### 総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

